

あなた自身ができそうな被災地の農業再生について

僕は、東日本大震災というと、人命が直接的に失われてしまった津波による被害が最も深刻なものであると、放射線環境学という講義を受けるまでは思っていました。たしかに、津波による被害は最も深刻な被害のうちの一つですが、それ以外にも、放射線による農作物の汚染、またはそれに伴う風評被害もまた、多くの人々に影響を与えた深刻な被害であることを思い知りました。また、復興が進んでもなお残り続けている問題が多くあることを思い知りました。僕は、直接的に震災の被害を受けたわけではなく、今までは、少し遠い場所で起きたことで自分には何もできない、悪く言えば他人事のように感じていました。しかし講義を聴いて、小さいですが自分にもできることはあるのだなと思い知りました。

被災地の農業再生について、汚染をどうにかすること、そのあとで被災地の農作物を消費してもらうことが中心になると思います。僕は、上に書いた2つのうち、後者に的を絞って、被災地の農作物を使用した料理を大勢の方々に食べてもらう、消費してもらう機会を持っていただくことについて考えたいと思います。ただ、その前提としてやはり被災地の農業の現実を知らなくてはならないので、まずは直接被災地に行って、自分の目で見て、できることをしてきたいと思います。僕には、技術的なことはほとんど分からないので、考えるよりも身体を使って農家の方々の力になりたいです。までい工法を用いることで個人でも農家の方々の力になれる、ということが大きく心に響きました。大勢の方々に食べてもらう方法としては、自らそういったイベントが企画できれば一番良いかと思うのですが、少し現実的ではないので、知り合いのお店で少し取り入れてもらうということが限界かと思います。そしてそのお店のお客さんに知ってもらいたいと思います。小さなことですが、そういった1歩が大勢の方々に被災地の農作物について知ってもらうきっかけとなることを信じます。